

# 「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 4 年 4 月 15 日

事業名称		東大和市シルバー人材センター運営・補助事業費 [ シルバー人材センター運営・補助事業 ]										
予算科目	款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	1	社会福祉総務費	事業番号	14	
事業の種別	<input type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input checked="" type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)											
担当部署・課長名	福祉推進			課			庶務			係	課長名	山田 茂人
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号	2 - 6			
【施策名】 高齢者保健福祉の推進								総合計画書 (ページ)	65			
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)						
	公益社団法人東大和市シルバー人材センター					公益社団法人東大和市シルバー人材センターの登録者数						
	→											
2 指標の推移	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)						
	高齢者の就労の場の確保に結びつける。					賃金総額(受取配分金)						
	→											
3 経費	③ そのために何をしましたか。					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)						
	公益社団法人東大和市シルバー人材センターに対して、運営に係る経費を補助する。					市補助金額						
	→											
		単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標					
			平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績		令和4年度目標	令和5年度目標				
対象指標	①の数値	人	648 (3月末現在)	610 (3月末現在)	582 (3月末現在)							
成果指標	②の数値	円	228,690,750	217,352,980	212,794,573							
目 標	②の目標値	円	250,000,000	250,000,000	250,000,000							
	目標値設定の考え方(課内庶務、休止したもの、廃止したものを除く。)											
資金総額の増により、登録者の就業確保の機会を図る												
活動指標	③の数値	円	34,698,000	34,172,000	35,934,000							
3 経費	事業費(実績)		円	34,698,000	34,172,000	35,934,000		※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,250,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値(退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
	財源	一般財源	円	23,271,000	22,745,000	24,328,000						
		特定財源(国・都・他)	円	11,427,000	11,427,000	11,606,000						
		(うち受益者負担)	円	0	0	0						
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.15	0.15	0.15						
		所要人数(再任用)	人	0.00	0.00							
		職員人件費(再任用以外)	円	1,246,500	1,257,000	1,237,500						
	職員人件費(再任用)	円										
事業費+人件費		円	35,944,500	35,429,000	37,171,500							
4 環境変化等	(1) 開始年度	昭和57 年度										
	(2) 環境の変化	超高齢化社会を迎え、年金受給ができる年齢まで企業等で働くことが一般化した影響により、会員の確保は引き続き課題となっている。会員を拡大するとともに、市場のニーズに応える事業の展開が求められる。										

事業名称	東大和市シルバー人材センター運営・補助事業費 [ シルバー人材センター運営・補助事業 ]				
担当部署・課長名	福祉推進	課	庶務	係	課長名 山田 茂人

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和3年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について				
	特になし				
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。(複数回答可)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組んだ	取組手法：⑤、⑦			
	<input type="checkbox"/> 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換(広報媒体： ) ⑦後援・場の提供 ⑧その他( )			
(2)令和4年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点 センター事業規模を把握し、適切な補助金額を定める。					
7 課題	(1)令和3年度に課題とした内容(「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題(3)を転記) センター事業規模を把握し、適切な補助金額を定める。				
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和3年度に実施したこと。 特になし				
	(3)(2)を踏まえた今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案) 今後とも、適切に補助金を支給する。				
8 施策貢献状況 (この仕事は、総合計画(基本計画)に掲げる課題の解決手段になっているか。)					
施策名： 高齢者保健福祉の推進					
<input checked="" type="checkbox"/> なっている <input type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名( )					
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性(「7 課題(3)」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など)				
	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止				
	【取組内容】 就業機会の拡大や、新規事業の展開等の事業拡大について、シルバー人材センターが一層取組みを強化するよう求めていく。				
(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・シルバー派遣事業に関する営業活動</li> <li>・市報、チラシ以外での広報</li> <li>・既に受注実績がある分野の深耕拡大</li> </ul>					